

## 呼びかけられる

To be called

平野 泰子

Hirano Yasuko

2018年7月27日 | 金 \_ 8月12日 | 日 11:00 - 19:00  
月曜日休廊 / 金曜日20:00まで

### ステートメント

目の前に広がる風景を描こうとした時、「描こう」とすることでどんどん現実から離れてゆく。その描けないと言う出来事に喜びを感じ、不可能性を自覚することで、広がる感覚を得た。

私の絵を作り上げてゆくものは、だれか、何か。

私が出会った現実が私の中で現象となり私の手にある「外的なものである絵の具」が体と密接になり、新たな絵として立ち上げる。それは時間や次元を飛び越えて、想いを馳せる行為となり、関わり合いを与えてくれる。

像を写すのではなく、関わりを表象化することが私にとって「描く」ことである。それらを形にすることに尊さを感じて制作している。

### 展覧会について

手と絵の具が一体となり、描いているときに、何かに呼びかけられる。その「呼びかけ」に対し、遠くのことや、誰かに想いを馳せる「まなざし」を絵画に落とし込む。自分の中で「主体 — 客体」が入れ替わる。

「絵の具」や「図」や「まなざし」を対等に提示することで言語や思考からではない、「呼びかけ」に反応し、絵画空間で新たな視座を問う。

平野泰子

### C.V.

#### 平野泰子 Hirano Yasuko

1985年、富山県に生まれる  
2007年、京都精華大学 芸術学部造形学科洋画専攻 卒業

#### 【個展】

- 2013 Twilight (masayoshi suzuki gallery / 愛知)
- 隠れた形・影になる (a-room / 京都)
- 2009 Twilight

#### 【グループ展】

- 2016 下町芸術祭 ウィズ・ペインター (神戸市立地域人材支援センター / 兵庫)
- 2015 VOCA展 2015 現代美術の展望 — 新しい平面の作家たち (上野の森美術館)
- 2014 WHEN THE CONTRASTS FADE AWAY (PINE BROOKLYN / 大阪)
- 2013 ARTIST FILE 05 (masayoshi suzuki gallery)
- 2012 ARTIST FILE 04 (masayoshi suzuki gallery)
- 2011 ARTIST FILE 03 (masayoshi suzuki gallery)
- 2010 ARTIST FILE 02 (masayoshi suzuki gallery)
- 2009 ARTIST FILE 01 (masayoshi suzuki gallery)

### Q・A

- 本公募に応募した理由  
関東に移り住んでから、制作も落ち着いて出来てきて、発表したい気持ちが強くなり、自分が惹かれる場所であれば、関東でも関西でも色々な場所で発表していきたいと思いました。GalleryPARCは、以前から観たいと思わせる展示を行っていたし、尊敬する先輩も展示していたので、是非展示したい!!と応募しました。

- 今回の展覧会について  
描くことで、構造を問うということをしてと思っています。世界の枠組みが変化する中で、描くことで無意識であるところを意識化できたらと考えています。

- 本展の目論見・挑戦・希望など  
想像力からの引用ではないよってところを観てほしいです!

- 現在の素材・技法はどのような理由で選択しましたか  
描く上で自然と必要になった支持体や描き方です。描くことは幼いときから大好きでした。

- これまでの作品に通底する問題意識や興味は  
想いを馳せることを、純粋なかたちで留めたいと考えたりします。

- 作品をつくることはどういうことか  
制作すること。正しいものや正解に向かうことではないと思います。

- 作品を見せることはどういうことか  
世界の枠組みを変化させるということ。

- 魅かれるものは何か  
未知の世界や、これからを感じさせるもの。

- 見たいものは何か  
義体化がどのように進むか。不安と希望がモリモリです。

- 現在の自身の問題点などあれば教えてください。  
体力。言語力。

- 何が美しいか  
他人を思いやる心

- 何が醜いか  
他人を思いやれない心

- 行ってみたい場所は  
ドイツ

- やってみたいことは  
ドイツで制作

- これから何をしたいか  
もっと制作したいです。